企画展
阪神・淡路大震災から15年
～地震防災研究はどう変わったか～

写真集

平成22年1月16日（土）

防災科学技術研究所

はじめに

1995年1月17日早朝に発生した兵庫県南部地震から、本年1月で15年を迎えました。同地震により引き起こされた阪神・淡路大震災は、戦後、わが国の大都市で生じた初めての大震災であり、それまでの地震防災研究が見直されるきっかけともなりました。

そこで、防災科学技術研究所では、写真や映像などで阪神・淡路大震災をあらためて見直すとともに、この15年間で地震防災研究がどのように進展したかを広く紹介することを目的として、1月16日（土）に日本科学未来館にて、企画展「阪神・淡路大震災から15年　～地震防災研究はどう変わったか～」を開催しました。

当日は約500名の来場者を迎え、同震災後の地震防災研究の取り組みや成果をポスター展示等により紹介しました。また、公開学習会、科学実験教室、資料閲覧ならびに模擬避難所体験コーナーなどを設けることにより、地震災害に備えることの大切さを訴えました。

本写真集は、企画展当日の様子を広くご紹介するためにとりまとめたものです。

阪神・淡路大震災から15年

地震防災研究はどう変わったか

日時：平成22年1月16日(土)10:00 ～ 17:00　入場参加 **無料**

会場：日本科学未来館1F（〒135-0064 東京都江東区青海2-41）

主催：独立行政法人 防災科学技術研究所 (E-Mail : toiawase@bosai.go.jp TEL.029-863-7784)
後援：文部科学省、東京都、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
防災研究フォーラム

展示 阪神・淡路大震災の概要を知ろう
震災に関する写真や統計データなどを展示します。

展示 防災研究の最前線
震災後、地震防災に関する研究がどのように変わり、現在どのような研究が行われているのか紹介します。

体験 資料閲覧、模擬避難所体験など
震災に関する資料の展示に併設して、避難所を体験いただけるコーナーや工作コーナーなどを設けます。

体験 科学実験教室、公開学習会
親子揃って自然災害について学んでいただける科学実験教室および公開学習会を行います（公開学習会のみ予約あり）。

映像 映像
阪神・淡路大震災に関する映像に加え、防災科学技術研究所の紹介ビデオなどを上映します。

展示 防災科学技術研究所の紹介
当研究所の概要をポスターなどで紹介します。

親子一緒に学べる展示も充実！
詳細はWEBでご確認ください。
防災科研　検索
防災科学技術研究所ホームページ
http://www.bosai.go.jp

独立行政法人 防災科学技術研究所
〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
電話：029-851-1611 FAX：029-851-1622

阪神・淡路大震災から15年

地震防災研究はどう変わったか

UPDATE 2010.1.15

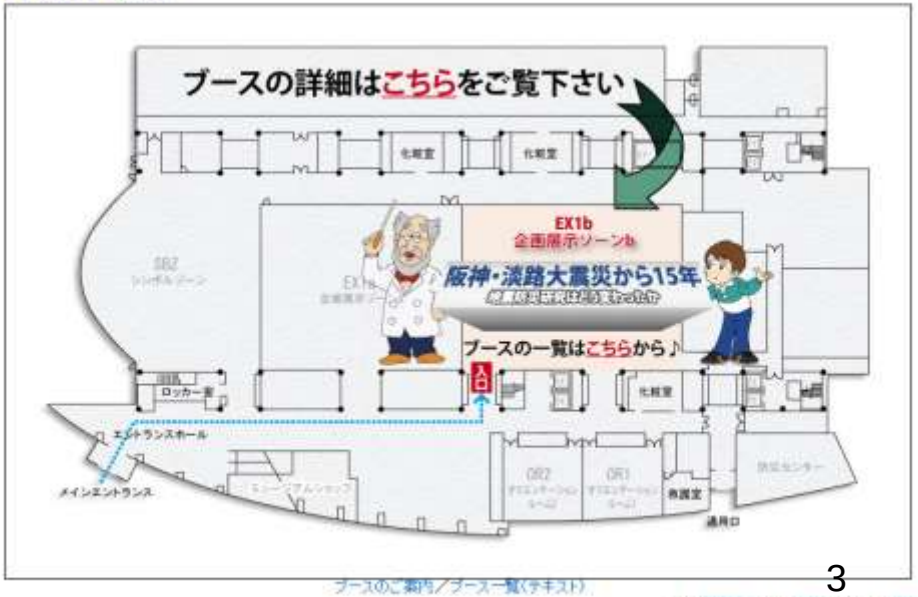
開催のご挨拶

1995年1月17日早朝に発生した兵庫県南部地震から15年が経過しようとしています。同地震により引き起こされた阪神・淡路大震災は、戦後、わが国の大都市で生じた初めての大震災でした。
本企画展は、写真や映像などで阪神・淡路大震災をあらためて見直し同震災を知らない世代へもその教訓を伝承するとともに、この15年間で地震防災研究がどのように進展したのかなど広く紹介することにより、地震災害に備えることの大切さを学んでいただくことを目的としています。

1	主　催	独立行政法人 防災科学技術研究所
2	後　援	文部科学省、東京都、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター、防災研究フォーラム
3	日　時	平成22年1月16日(土) 10:00～17:00(入館は16:30まで) ※企画展は終了しました
4	場　所	日本科学未来館1F 企画展示ゾーンb (〒135-0064 東京都江東区青海2-41) ■アクセスマップ
5	料　金	無料(日本科学未来館常設展示の入場は別途)
6	内　容	展示会場は、6つの企画ゾーンで構成されています。詳細は「ブースのご案内」をご覧下さい。

A4ポスター pdf 1.3MB
A1ポスター pdf 0.2MB

会場のご案内



ブースのご案内／ブース一覧(テキスト)

Total Today Yesterday

独立行政法人 防災科学技術研究所

⑤公立学校施設の耐震化の推進

公立学校施設の耐震化の現状と、耐震化を推進するための国における様々な取組について紹介します。

④緊急地震速報

緊急地震速報は、どうやって早く地震の揺れを予測するのでしょう。防災科研も深く関わる緊急地震速報のつくりかたを紹介します。

③J-SHIS

地震ハザードステーションJ-SHISとは?概要紹介とデモをお見せします。あなたの住む街で、大地震が発生する確率は!

※J-SHIS(Japan Seismic Hazard Information Station)

②地震観測研究

防災科研が世界に誇る地震観測網を紹介。震災後どのように観測網が整備され、どのような成果が出てきているのかポスター、パンフレット、映像を用いて紹介します。今起きている地震もわかるリアルタイム波形モニターも展示。

①地震調査研究推進本部

地震本部が発足した経緯と主な成果を紹介。また、地震の謎にせまる「キッズページ」をご覧いただけます。

⑥E-ディフェンス

世界最大の実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)を紹介。また、地震が起きた際の建物の動き・壊れ方を実大実験の映像などによって紹介します。

⑦地震地すべり研究

新潟県中越地震では地すべりダムが生じ、岩手宮城内陸地震では超巨大地すべりが起きました。地震では予想外の地すべりが発生します。今後起きる地震地すべりに備えるため、過去の地震地すべりの事例を学びましょう。

⑧BOSAI-DRIP

地域の防災力を向上するための様々な取り組みを紹介します。会場では、自分の住んでいる街の防災マップ作成体験を実施します。

※BOSAI-DRIP(Research Project on the Disaster Risk Information Platform)

⑨防災研究フォーラム

防災研究フォーラムについて紹介します(東大地震研および京大防災研の概要も紹介します)。

⑬ミニ地震をおこしてみよう! 地震の実験教室

大きな被害を起こす地震。その正体はいったい何なのでしょう? この実験教室では、小さな地震(ミニ地震)を起こしてその正体に迫ります。さらに地震を調べる技術や地震の災害についても学べます。

第1回 **11:00-11:30**

第2回 **13:00-13:30**

⑬Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室

地盤液状化現象、固有振動など大規模な自然災害を分かりやすい実験で再現。

第1回 **14:10-14:35**

第2回 **14:50-15:15**

⑪公開学習会

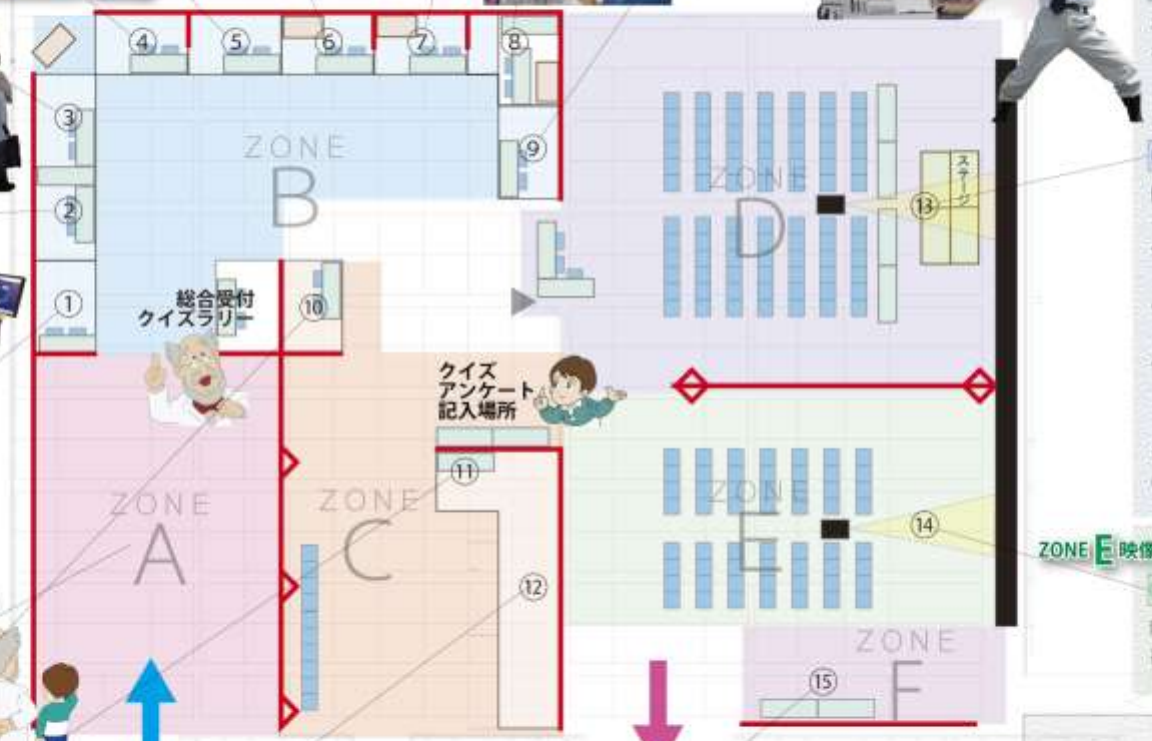
阪神・淡路大震災15年　公開学習会
―阪神・淡路大震災の教訓と首都圏の地震防災―

15:30-15:45 井口隆「阪神・淡路大震災では何がおこったか」

15:45-16:15 永谷武司「阪神・淡路大震災から学ぶ」

16:15-17:00 武村雅之「関東大震災の教訓と来るべき地震への備え」

※公開学習会のみ予約席がございますので予めご了承下さい。



⑭映像

防災科研の紹介、耐震実験の紹介、阪神・淡路大震災に関する映像を上映。

⑩東京都(建物の耐震化)

東京都が行っている耐震化事業を紹介します。

⑪人と防災未来センター

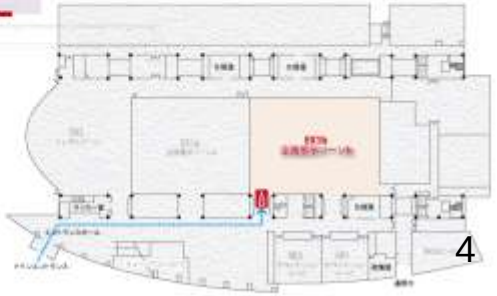
阪神・淡路大震災で起こったことを伝えることなどを目的に神戸市に設置されている「人と防災未来センター」の展示物の一部を紹介します。

⑫模擬避難所体験

模擬避難所体験「段ボール製の間仕切りやベッドで模擬避難所を体験してみよう!」／子ども向け工作「固有振動学習おもちゃ"ゆらゆら"をつくろう!(高さによる地震の揺れ方の違いが分かるよ)」／子ども向け読書・紙芝居「子ども向けの災害の本約400冊や紙芝居が勢ぞろい!　大人も楽しく学べます」／防災グッズ「日常・非常時兼用の防災グッズを紹介します」　他

⑮防災科研の紹介

防災科研が行っている地震災害以外の研究について、ポスターなどで紹介。



(内容）

A: 阪神・淡路大震災の概要を知ろう

B: 防災研究の最前線

C：資料閲覧、模擬避難所体験など

D：科学実験教室、公開学習会

E：映像

F：防災科学技術研究所の紹介

A.　阪神・淡路大震災の概要を知ろう

①阪神・淡路大震災の概要

②断層の近くで観測された地面の動き

③震災の概要（神戸新聞）

④道路

⑤護岸側方流動

⑥鉄筋コンクリート建物など

⑦木造建物

⑧家具などの転倒、地すべり

⑨火災

⑩避難生活

⑪倒壊した高架式高速道路

⑫液状化により被害を受けた港湾施設

①阪神・淡路大震災の概要 /②断層の近くで観測された地面の動き/③震災の概要（神戸新聞）

④道路/⑤護岸側方流動

⑥鉄筋コンクリート建物など/⑦木造建物/⑧家具などの転倒、地すべり

⑨火災/⑩避難生活

※⑩の写真は、「人と防災未来センター」提供

⑪倒壊した高架式高速道路

※⑪の航空写真は、「中日本航空株式会社」提供

⑫液状化により被害を受けた港湾施設

※⑫の航空写真は、「中日本航空株式会社」提供

B.　防災研究の最前線

①地震調査研究推進本部

②地震観測研究

③地震ハザードステーション J-SHIS

④緊急地震速報

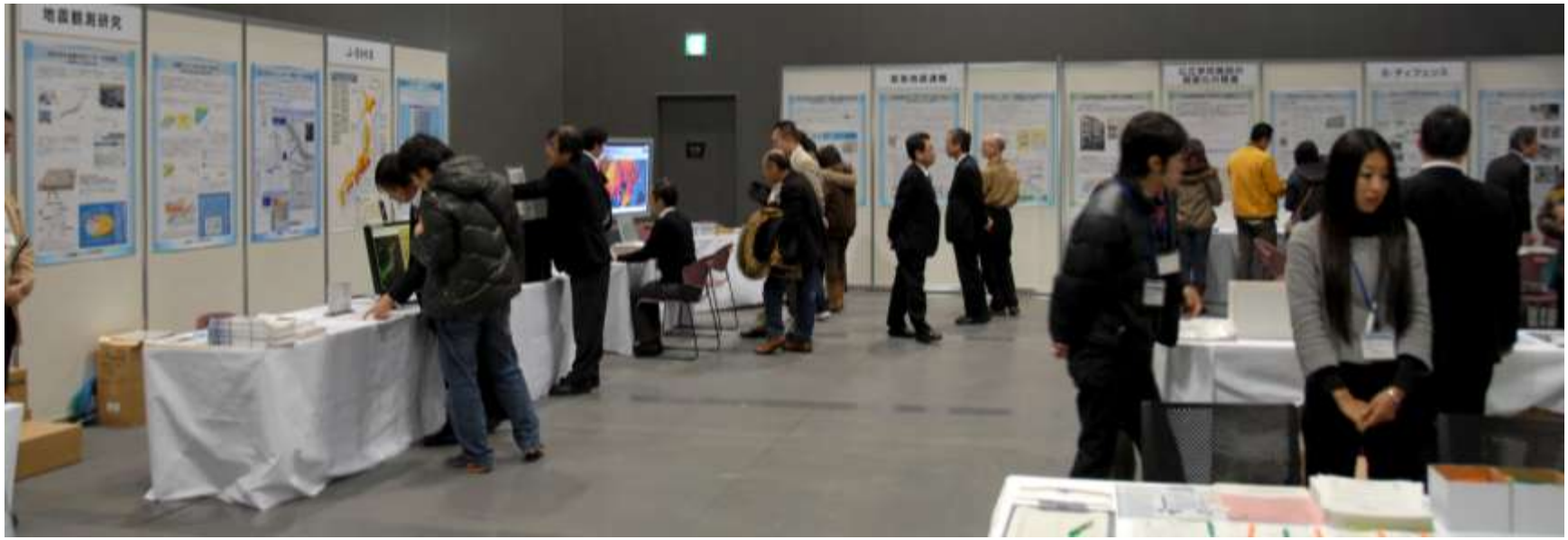
⑤公立学校施設の耐震化の推進

⑥Eーディフェンス

⑦地震地すべり研究

⑧BOSAI-DRIP

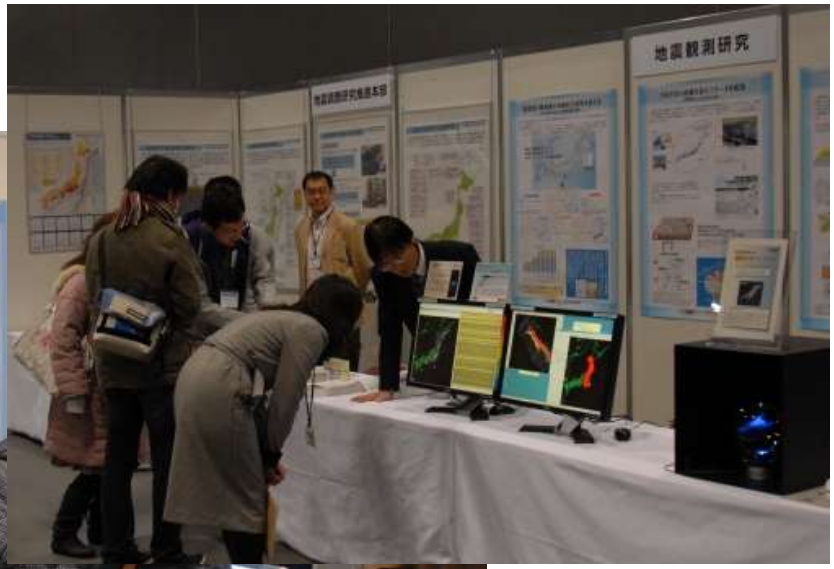
⑨防災研究フォーラム



①地震調査研究推進本部

地震本部が発足した経緯と主な成果を紹介。また、地震の謎にせまる「キッズページ」をご覧いただきました。　※協力：地震調査研究推進本部

②地震観測研究

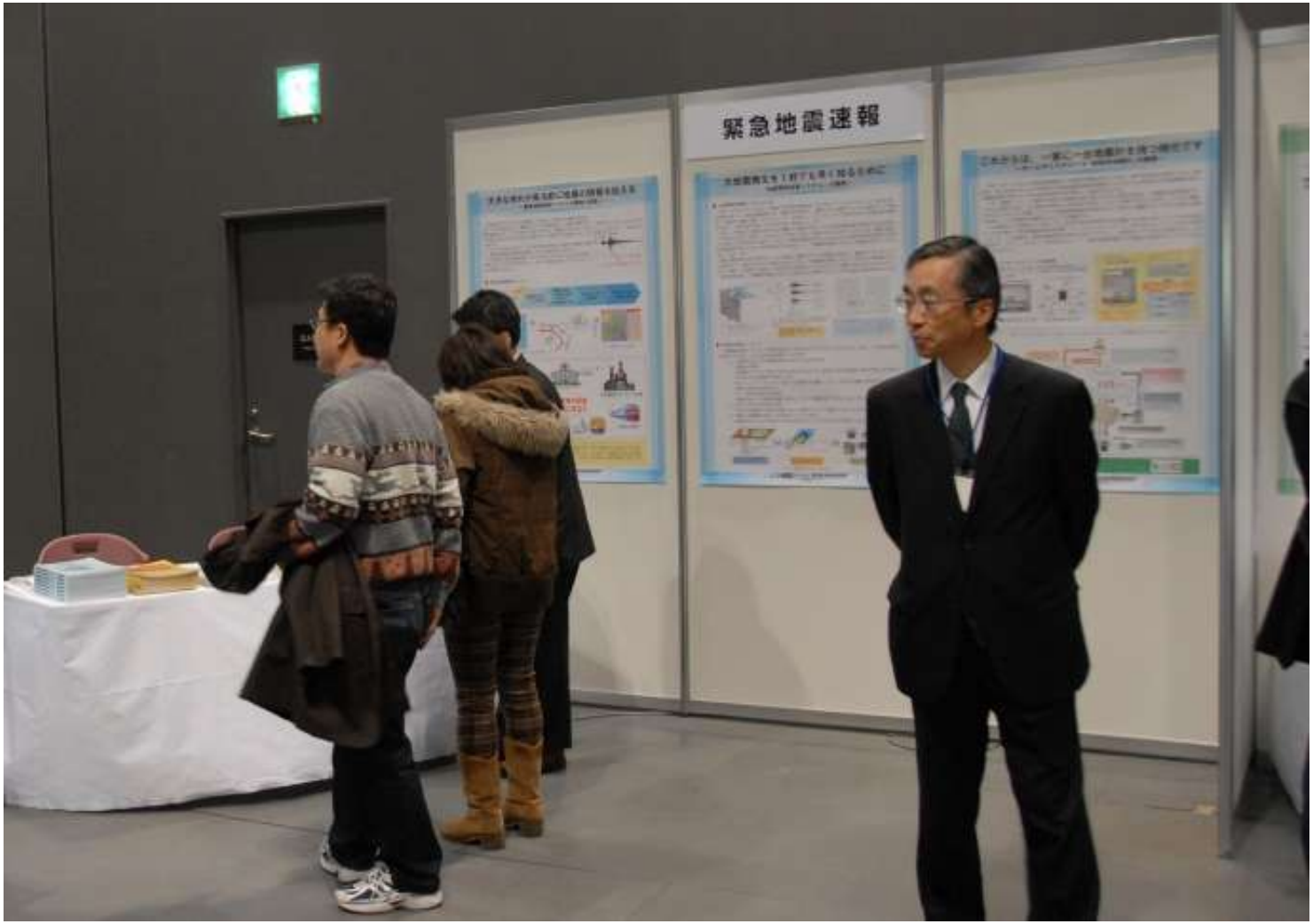


防災科研が世界に誇る地震観測網を紹介。震災後どのように観測網が整備され、どのような成果がでているのかポスター、パンフレット、映像を用いて紹介しました。当日起きている地震もわかるリアルタイム波形モニターも展示しました。

③地震ハザードステーション J-SHIS

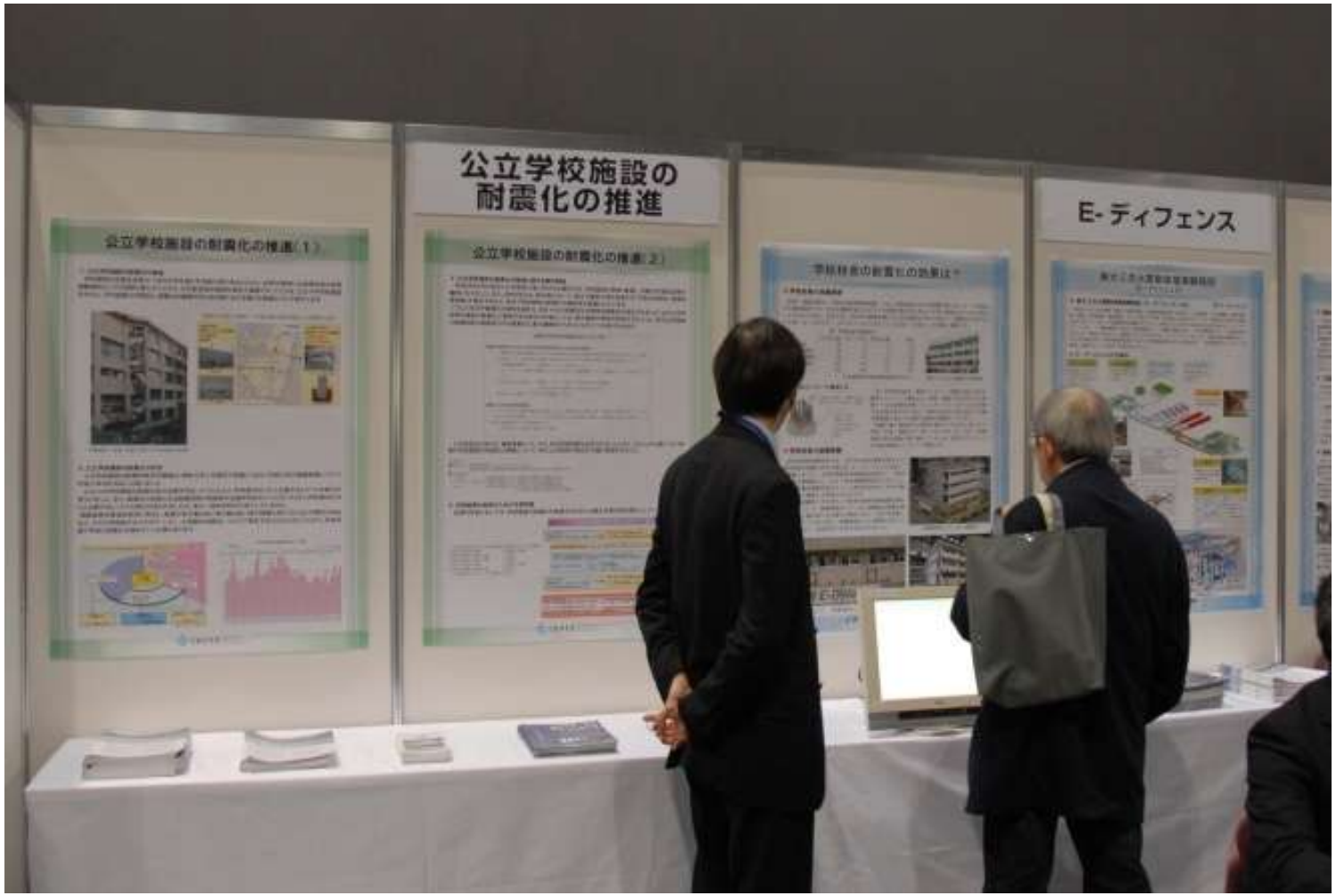
地震ハザードステーションJ-SHISとは？　概要紹介とデモをお見せしました。あなたの住む街で、大地震が発生する確率は！

④緊急地震速報



緊急地震速報は、どうやって早く地震の揺れを予測するのでしょう。防災科研も深くかかわる緊急地震速報のつくりかたを紹介しました。

⑤公立学校施設の耐震化の推進



公立学校施設の耐震化の現状と、耐震化を推進するための国における様々な取り組みについて紹介しました。
※協力：文部科学省文教施設企画部

⑥Eーディフェンス

世界最大の実大三次元震動破壊実験施設（Eーディフェンス）を紹介。また、地震が起きた際の建物の動き・壊れ方を実大実験の映像などによって紹介しました。さらに、「紙ぶるる」による耐震補強の効果に関する工作教室も実施しました。

⑦地震地すべり研究

新潟県中越地震では地すべりダムが生じ、岩手・宮城内陸地震では超巨大地すべりが起きました。地震では予想外の地すべりが発生します。今後起きる地震地すべりに備えるため、過去の地震地すべりの事例を学んでいただきました。

⑧BOSAI-DRIP　*

*BOSAI-DRIP (Research Project on the Disaster Risk Information Platform)

⑨防災研究フォーラム

防災研究フォーラムについて紹介しました。東京大学地震研究所および京都大学防災研究所からご提供いただいた資料も展示・配付いたしました。

※協力：東京大学地震研究所、京都大学防災研究所

C.　資料閲覧、模擬避難所体験など

⑩東京都（建物の耐震化）

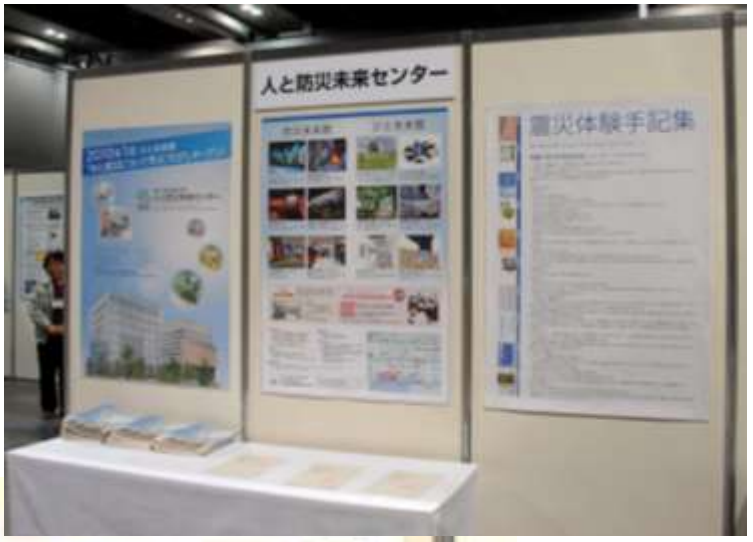
⑪人と防災未来センター

⑫資料閲覧、模擬避難所体験

⑩東京都（建物の耐震化）

東京都が行っている建物の耐震化事業について紹介していただきました。
※協力：東京都都市整備局

⑪人と防災未来センター



阪神・淡路大震災で起こったことを伝えることなどを目的に神戸市に設置されている「人と防災未来センター」からお借りした展示物を紹介しました。小学校２年生、５年生（当時）が描いた震災体験の絵には心を打つものがありました。　※協力：人と防災未来センター

⑫-a 資料閲覧

阪神・淡路大震災に関係して収集した資料の一部と書庫の様子（写真）を展示しました。

⑫-b 防災グッズ、子ども向け工作

固有振動学習おもちゃ「ゆらゆら」をつくり、動かしてみました。

日常・非日常兼用の防災グッズを紹介しました。

⑫-c 模擬避難所体験

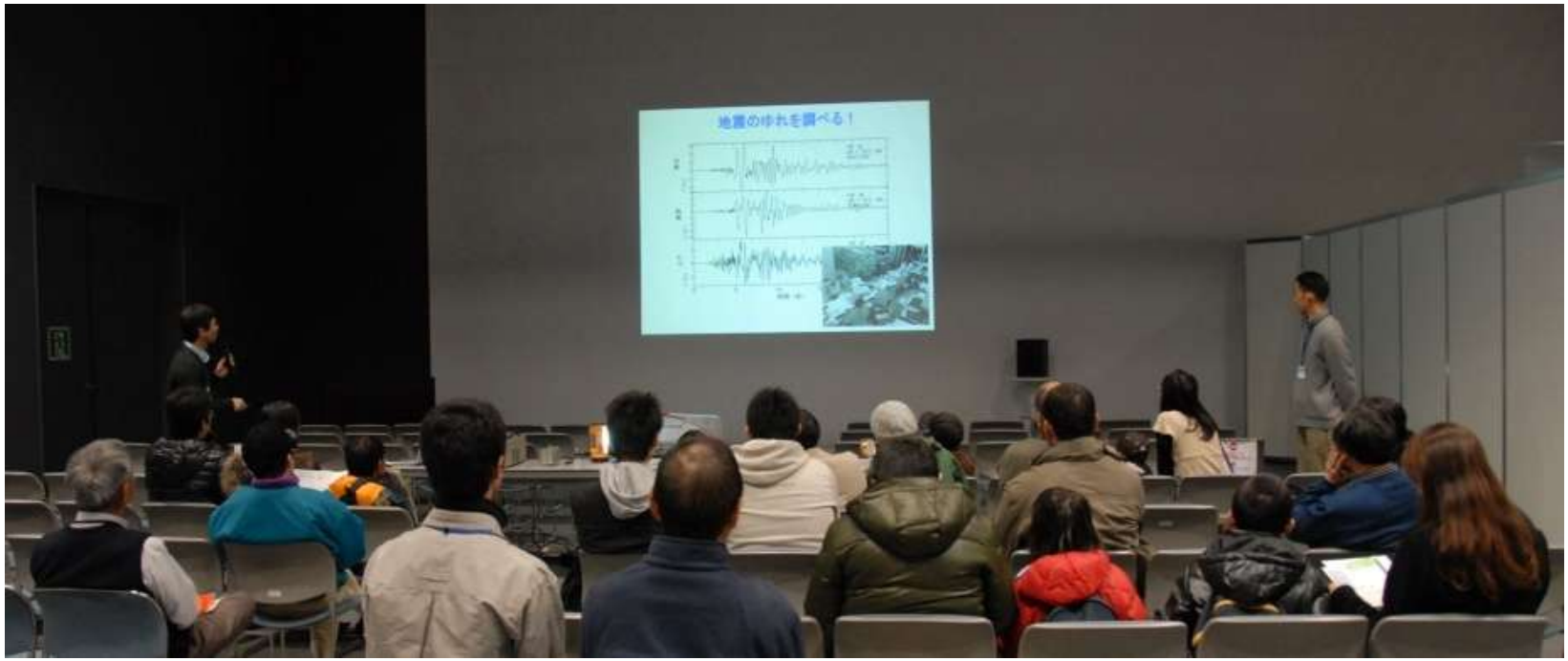
段ボール製の間仕切りやベッドで模擬避難所を体験していただきました。

D.　科学実験教室、公開学習会

⑬ミニ地震をおこしてみよう！　地震の実験教室

⑭Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室

⑮公開学習会



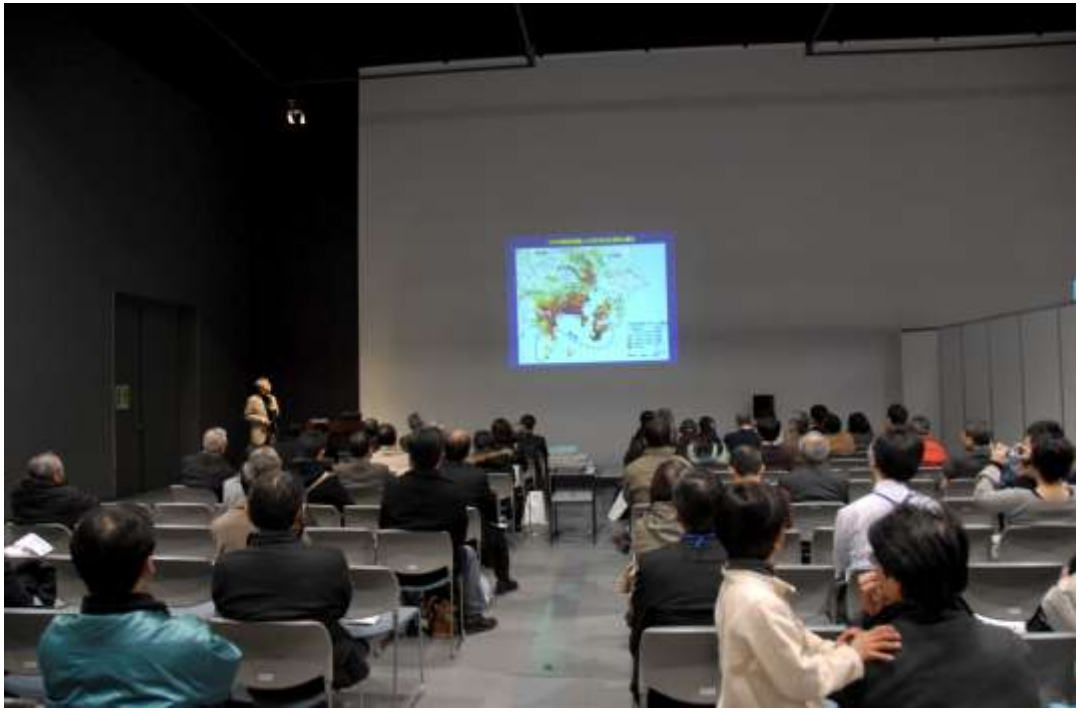
⑬ミニ地震をおこしてみよう！　地震の実験教室

⑭Dr.ナダレンジャー の 自然災害科学実験教室

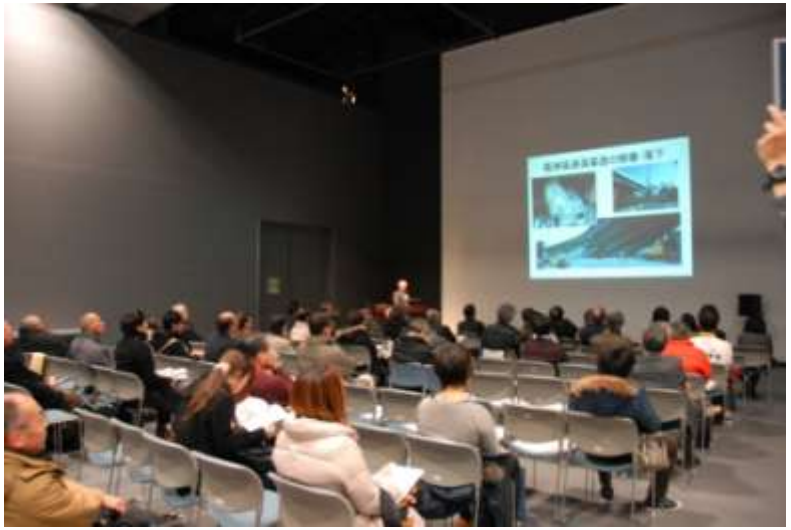
地盤液状化現象、固有振動など大規模な自然災害を分かりやすい実験で再現しました。

⑮公開学習会

「阪神・淡路大震災の教訓と首都圏の地震防災」というテーマで、3名の講演者による公開学習会を行いました。



「関東大震災の教訓と来るべき地震への備え」
（講演：武村雅之（鹿島建設株式会社））



「阪神・淡路大震災では何がおこったか」
（講演：井口隆）

「阪神・淡路大震災から学ぶ」
（講演：水谷武司）

E.　映像

防災科研の紹介ビデオ、Eーディフェンスによる耐震実験映像を見ていただきました。また、人と防災未来センターからお借りしたビデオ「ユース震災語り部『私の語り』」を上映しました。

F. 防災科学技術研究所の紹介

防災科研が行っている地震災害以外の研究について、ポスターなどで紹介しました。

来場者のみなさま、ご協力してくださったみなさま、ありがとうございました。

写真の掲載につきましては注意を払っておりますが、もし不都合な写真などがありましたら、企画部広報普及課までご連絡ください。